

コロナ禍で苦しむ学生に3万円給付を

共産党都議団が

12月議会に 条例を提案

日本共産党東京都議団は、12月議会(第4回定例会)に「東京都学生応援給付金条例(案)」を提案することを発表しました。

「学生応援3万円給付金」 条例案の概要

- ▲目的——アルバイトの減少による減収、オンライン授業のための機器購入など、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている学生を支援
- ▲対象——都内在住、または親が都内在住の大学生・院生・専門学校生等
- ▲金額——3万円(1回のみ)
- ▲時期——今年度中(来年3月までに)



新型コロナウイルス感染症の拡大によって、多くの都民が苦しんでいます。が、大学生・専門学校生も、その影響を強く受けています。条例案はこうした学生を応援するものです。

政治の力で若者の支援を

私たちのところにも、「食事を一日一食にしている」、「収入はないのに、学費を払い、しかもオンラインのみで学校に行けない」、「退学を考えている」など深刻な声が寄せられています。食料支援を行う若者の自主的なとりくみも広がっていますが、いまこそ政治の役割が必要です。実現に全力あげます。一緒に声をあげましょう。

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2020年12月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社(港区芝 1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可